

よう。

ニミー一口メモ ぎょうざの具の中に、かくし味としてごま油を少々入れるとおいしくなります。

みんなの 健康 & 家庭

思春期やせ症

■ こどもの心の発達(第24回)



大分大学教育学部
助教授 小林 隆児

思春期やせ症、または神経性食思不振症といわれる思春期の子どもに多発する心身症は昔に比べて著しい増加を示しています。しかし、その原因についてまだ、はつきりとは解明されていないのが現状です。

し子は小学5年の終わり頃、腹部の不快感から食欲が低下し、これが契機になって食事を抑えるようになりました。この頃からやせ願望が起つてきたのです。すると食事をするしないを巡つて母親と言い争うようになりました。し子は拒食を徹底してやり始めたのです。余りにも身体の衰弱が激しいので、小児科を受診し、その紹介で精神科の入院治療が開始されました。するとそれまで母親をあればほどまでに拒否していたのに、親と離れて落ち着くと、急激に母親の元に帰りたいと要求するようになります。外泊して母親と一緒に入浴するまでになりました。するこ

機的事態が収まる、治療の中心は家族の混乱を收拾すると共に、し子に起つてきた心身の動搖と精神的自立への援助へと移つていきました。すると母親に対する依存欲求と反発が併存し、まさに母親からの自立を巡る混乱した心理状態が明らかになつたのです。病棟生活で若い仲間とのやりとりを楽しむ体験をしたことが大きな契機となつて、次第に一人で時間を過ごせるようになり、自分の世界が創造されるようになつていきました。こうして自信をつけ退院し、その後友達との交流が急速に深まつていきました。

このようにし子がやせ症を呈した背景には、母親からの自立を巡る葛藤が存在していたのですが、母親自身にも女性としての生き方に自信の無い不安定さが存在していました。し子の自立への過程を援助しながら、同時に母親の女性の獲得を巡る苦悩を支持するといった家族療法が存在していました。し子の自立への過程を援助しながら、同時に母親の女性の獲得を巡る苦

ルギー源となり、細菌によって酸が作られ、歯の表面を溶かし形成されます。次に甘い食品に含まれる糖質、特に砂糖がエネルギー源となり、細菌によって酸が作られ、歯の表面を溶かします。これが、むし歯の始まりです。これが、芽生えてきたのです。

このままでは、お子さんが甘いお菓子を強くほしがる時には、こうして歯垢や酸を作りにくくなつてしまします。お子さんが甘いお菓子を強くほしがる時には、こう

いうものを御利用なさるのも良いのではないかと思います。しかし、むし歯にならない甘味料

にむし歯を起こしやすいネバネバした歯垢(細菌を多く含んだ)が形成されます。次に甘い食品に含まれる糖質、特に砂糖がエネ

ルギー源となり、細菌によって酸が作られ、歯の表面を溶かします。これが、むし歯の始まりです。これが、芽生えてきたのです。

どうしました?

むし歯にならぬ甘味料

い安全な甘味料に置き換える事ができたら、むし歯予防に大変役立つ筈です。このような観点から、最近この砂糖に代わるむし歯にならない色々な甘味料が研究されてきました。そして、

そのような甘味料を使つたお菓子類が一般的のスーパー等で売ら

れるようになりました。御存知



福岡歯科大学
小児科・歯科科学教室
助手 石井 香

健|康|コ|ラ|ム

Q 生後五ヶ月です。人工栄養で育てていますが、母乳で育てた子に比べて弱いといふのは、ほんとうでしょうか。

A 母乳で育つ赤ちゃんが

人工栄養

かつたとしても重くならないと云うのは事実です。ミルクの原 料である牛乳は、すぐれた栄養食品ですが、牛の赤ちゃんを育てるにはびつたりとも、人間の赤ちゃんには過不足があるのはやむをえないことです。それに比べて、母乳は、人間の赤ちゃんが育つにふさわしい成分組織をもつていています。母乳の中には、病気にかかりそうになつても、それを予防してくれる免疫因子が含まれています。

できるだけ母乳で育てるよう

にといわれるのは、それなりの根柢があるわけです。ただ、母

乳栄養のすぐれていることはわ

かっても、絶対量が不足したり、仕事ももつていて母乳で育てら

れない場合は、人工栄養もやむをえません。このうえ最近の粉

ミルクは、組成のうえ母乳に

だいぶ近づいているので、あまり配しないで、与えられた条

件のうえ、うつむいて育てること

に、ちょうど伊万里ケーブルテ



参考検査合格率
高い6年根の上位
高純度のエキス
セノサイドによる
重要な点
います。
×3)
3,500円

ファミリー
品協会認定マーク
破碎クリーレ使用
優れた天然100%
C・G・F・含有
ミノ酸のバランス
入り)
1,800円